

本所地域プラザ指定管理者応募事業者概要

| | 事業者名 | 一般社団法人地域プラザBIGSHIP |
|--------------------|---|--|
| 1 利用者サービスの向上 | (1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して公平でわかりやすい接客ができるよう、接遇研修を実施する。 ・ホームページへの空き状況の掲載を原則、毎日更新する。 |
| | (2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか | <ul style="list-style-type: none"> ・3つの理念を再認識し、施設を運営する。 「人とひとをつなぐ」：新・旧住民の出会いの場、交流の場となるよう、施設を運営する。 「心とからだを元気にする」：定年を迎え、自宅で過ごすが増えるであろう男性の高齢者をターゲットとした事業を展開する。 「文化を発信する」：様々な音楽を提供し、多目的ホールを宣伝するとともに、地域の方が気軽に文化に触れる機会を作る。 |
| | (3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か | <ul style="list-style-type: none"> ・貸出施設に、新たにwi-fi環境を整える。 ・快適な施設環境を維持するため、適宜、必要とする小規模修繕を実施する。 ・子育て支援の一助として、「一時預かり事業」を継続する。幼保無償化の対象施設となることで、保育の質を担保する。 |
| | (4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか | <ul style="list-style-type: none"> ・カフェやトレーニングルームにもご意見箱を設置する。 ・定期的に利用者アンケートをとることにより、利用者ニーズを把握し、施設運営に生かす。 |
| | (5) 墨田区が掲げる協治（ガバナンス）の考え方を生かした提案となっているか | <ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な能力を持つ住民が運営の原動力となり、企業や団体の力も引き入れ、「地域力」を最大限に生かした運営を行う。 ・運営スタッフ全員が地域の方と顔見知りであるという特性を生かし、地域の交流を促す各種事業を実施する。 |
| | (6) 地域コミュニティの活動が活性化されるような独自の提案があるか | <ul style="list-style-type: none"> ・子供や高齢者の孤食への対応、子育て世代の応援及び高齢者の交流の場として「BIGSHIPで晩ごはん」を月に2回程度実施する。 ・男性が参加しやすいよう、男性向けの体操教室「男性のためのパワートレーニング教室」を実施する。 ・区の介護予防事業を終了した方の受け皿として、「てんとうむしの会」等の事業を継続し、介護予防につなげる。 |
| 2 効率的・効果的な施設の運営 | (1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置や年1回以上の利用者アンケートの実施により、利用者のニーズや提案を施設運営に生かす。 ・次世代への引き継ぎとともに、新しい事業の展開を図るため、運営組織に新たに「企画」の担当を置く。 |
| | (2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか | <ul style="list-style-type: none"> ・常に安価・良質な商品・サービスの選定を行う。 ・ unnecessaryな電気の消灯・空調の適切な温度設定・両面印刷や裏紙使用を積極的に行う。 |
| | (3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか | 指定管理料提案額：58,013,000円 |
| | (4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの採用の際には、周辺住民をはじめとした積極的な区民雇用に努める。 ・清掃・警備などの委託や物品購入時には、積極的に区内業者を活用する。 |
| | (5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か | <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率65%を目指して、利用料金収入の増加を図る。 ・ホームページのほか、新しいツールとしてSNS等を積極的に活用する。 ・スタッフ全員が地域の方と顔見知りであるという特性を生かし、地域の交流を促す各種事業を実施する。 ・調理や食をテーマにした事業を積極的に開催することで、調理室の稼働率向上を目指す。 ・自宅に引き込みりがちな高齢の男性を対象とした料理教室を実施し、利用者交流につなげる。 ・高齢者の健康増進及び介護予防のため、「みんなでランチ&トーク」を新たに実施する。 ・学び合い体験室は、備品類の見直しも含め、より使いやすい施設とするための検討を行う。 ・様々な分野の専門家を講師としたトーク講座を実施し、新たな利用者呼び込む。 |
| 3 事業計画の遂行能力 | (1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率 H30年度 33.8% ・経常損益 H30年度 1,422千円 |
| | (2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か | <ul style="list-style-type: none"> ・館長1名、副館長1名を配置し、館長の不在時は、代理の責任者を指名する。 ・受付及び管理は、利用者の多い時間帯を2名体制とする。 ・法人として、継続的な運営が可能となるよう、次世代への引き継ぎについて検討・実行している。 |
| | (3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か | <ul style="list-style-type: none"> ・総括責任者は、平成25年の開館以来、施設の館長を務めており、実務経験を有している。 ・防火管理者、食品衛生責任者、公認スポーツ指導者の有資格者を配置する。 ・接遇研修に力を入れ、外部の講師による研修を実施する。 |
| | (4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の記録された書類は、施設設備のある保管庫に保管する。 ・パソコンにはIDとパスワードを設定し、持ち出しができないよう、施錠をする。 |
| | (5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か | <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、自衛消防隊訓練を実施し、個人の役割を明確化する。 ・職員の巡回により、職員自身が危険箇所等を確認することにより、事故・犯罪の防止に努める。 ・スタッフ及び帰宅困難となった利用者への対応のため、最低限の食料等を備蓄する。 ・苦情の発生を未然に防ぐため、利用者との日常のコミュニケーションを大切にす。 |